

伊予市(双海地区)地域おこし協力隊 活動報告

～一次産業重点型の隊員として取り組んできたこと～

活動報告

～着任2年目の活動～

自然栽培での枝豆・大豆栽培を開始

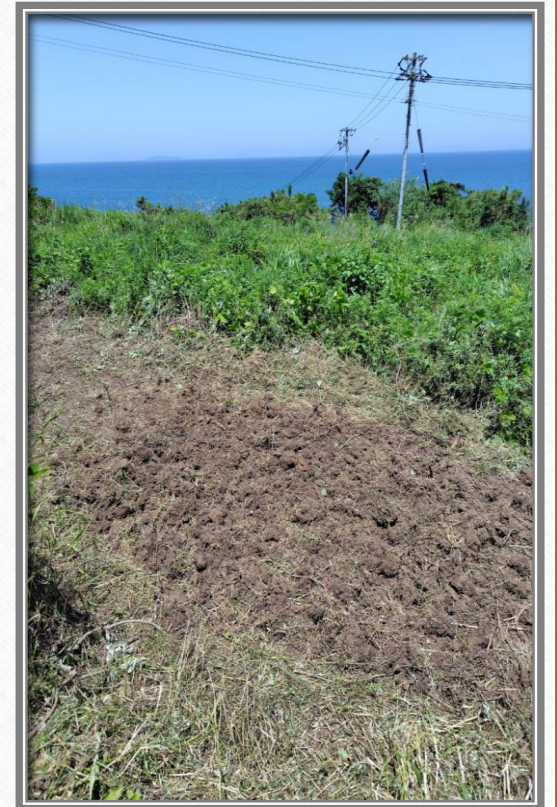
令和7年6月にご縁で畑をお借りすることができた。

稲作をしたかったが、時期的に田植えに間に合わなかったのもので、お米同様、昔から日本人の食を支えてきた枝豆・大豆の自然栽培を開始。



6月(草刈り・耕耘)

お借りした耕作放棄地の一部を刈り払機で除草、人力で耕して
播種の準備を行った。



6月(畝立て・播種)

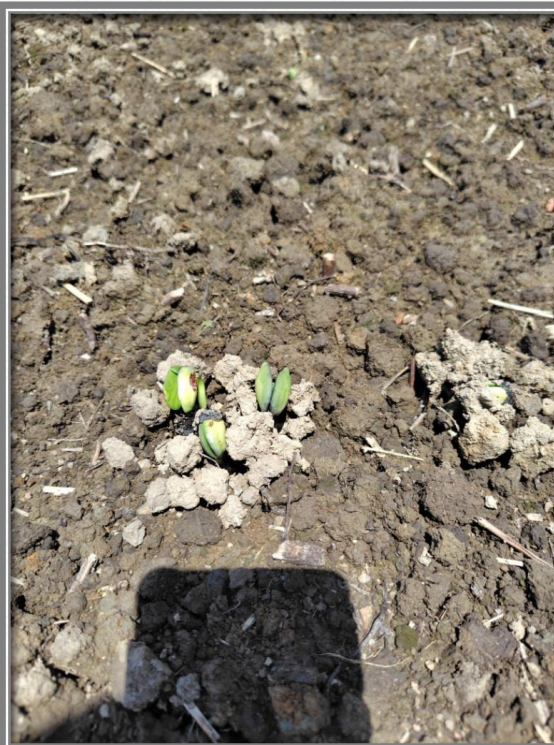
耕耘後、畝立てをして福岡正信自然農園で教わった
粘土団子に種を混ぜ込み播種。



7月(発芽)

発芽第一号は7月7日。

そこから次々と発芽していった。



8月～9月(成長期)

防虫ネットをかけるエリアとかけないエリアに分けて
試験的に栽培。



9月～10月上旬(ぐんぐん成長期・枝豆収穫間近)



10月 自然栽培の枝豆収穫！

無農薬・無化学肥料の自然栽培で育った枝豆を収穫し、
地域の方や職場の職員の方に御裾分けさせていただいた。

～実際に召し上がっていただいた方からのお声～

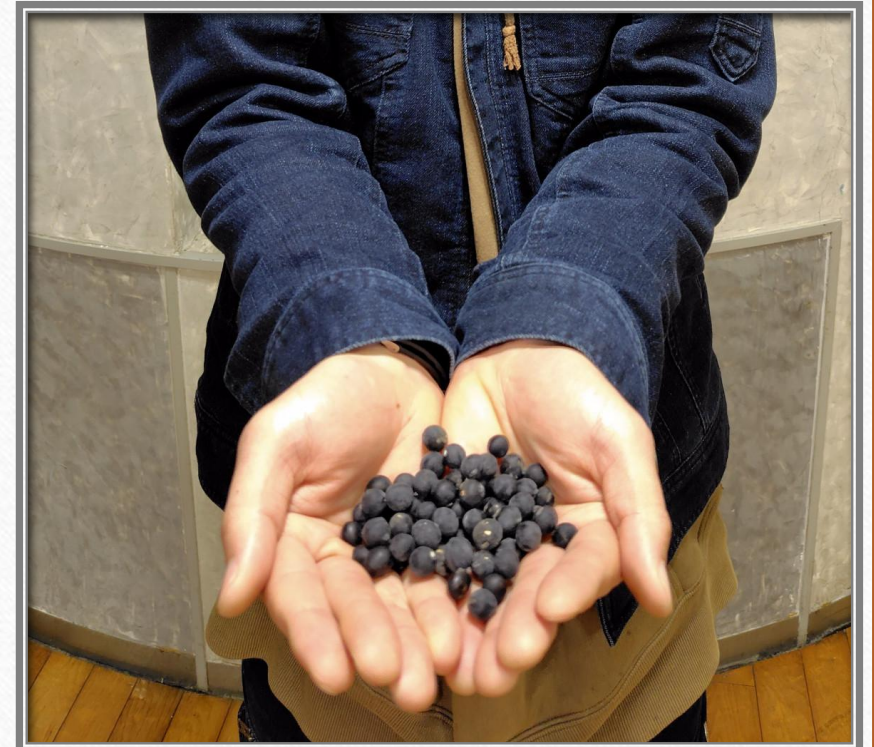
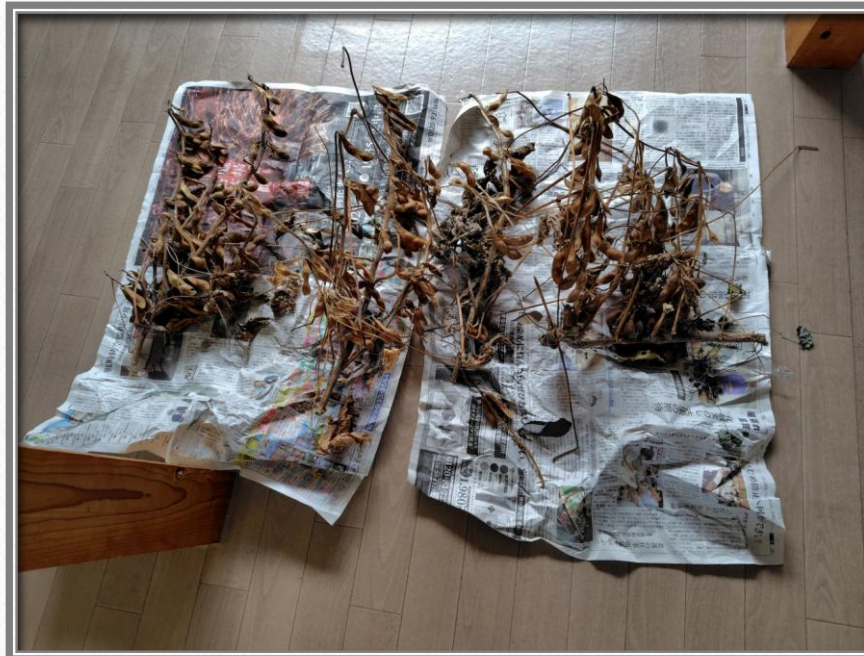
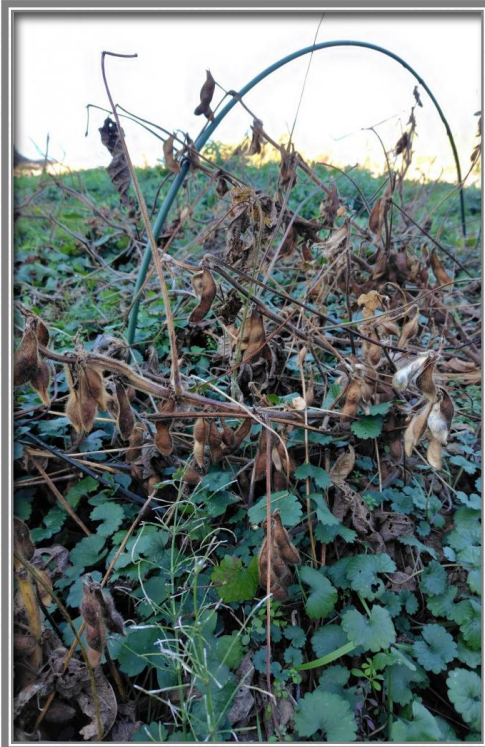
- ・めっちゃ美味しかった！
- ・『ありのまま』って感じがした！
- ・スーパーの枝豆より実が大きいんやね！
- ・無農薬を見くびっていたわ！
- ・来年もまた食べたい！



令和8年1月 自然栽培の大豆も無事収穫

大豆用に収穫しなかった実も、その後すくすく成長。

今月に入り大豆も収穫した。



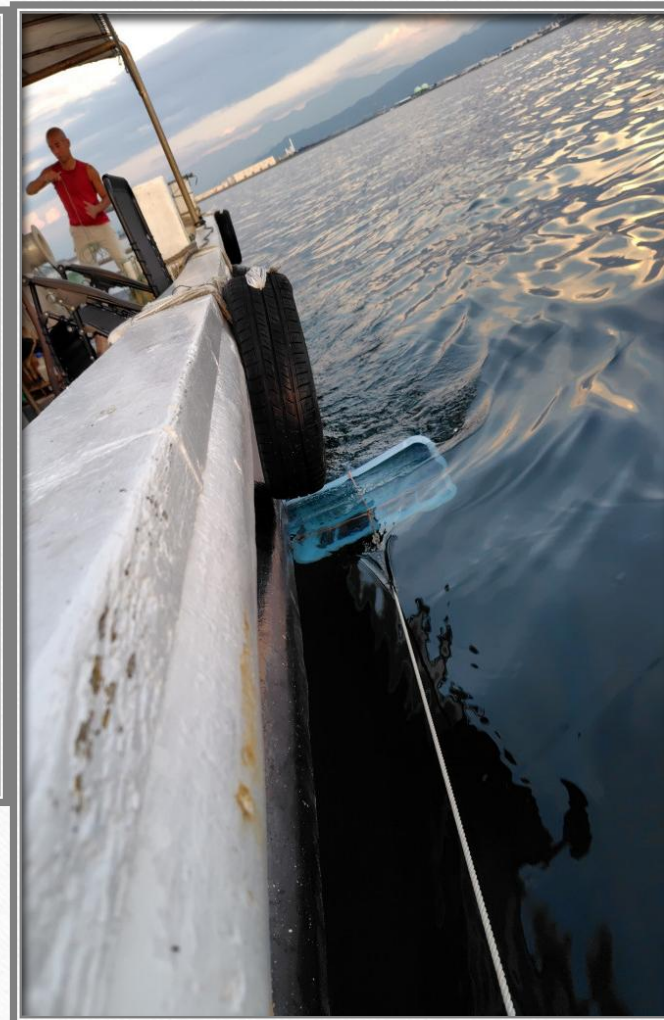
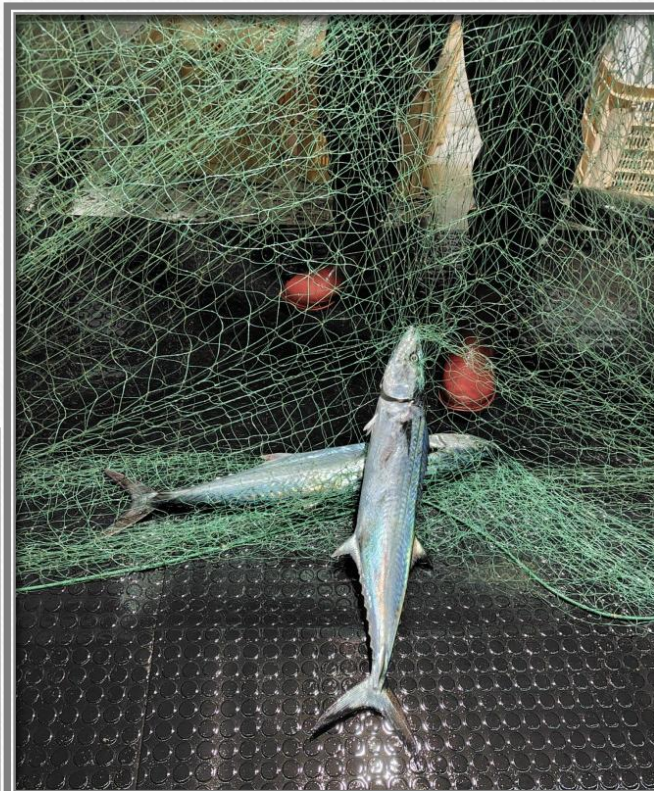
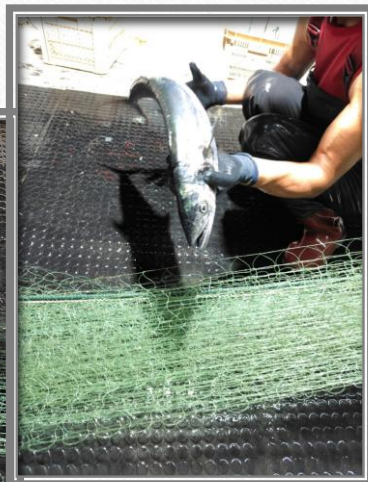
耕作放棄地だった畑は・・・



農業以外で取り組んだこと

漁業(サワラ漁)体験

上灘の漁師さんのサワラ漁に同行。
そこで色々な初体験させていただいた。



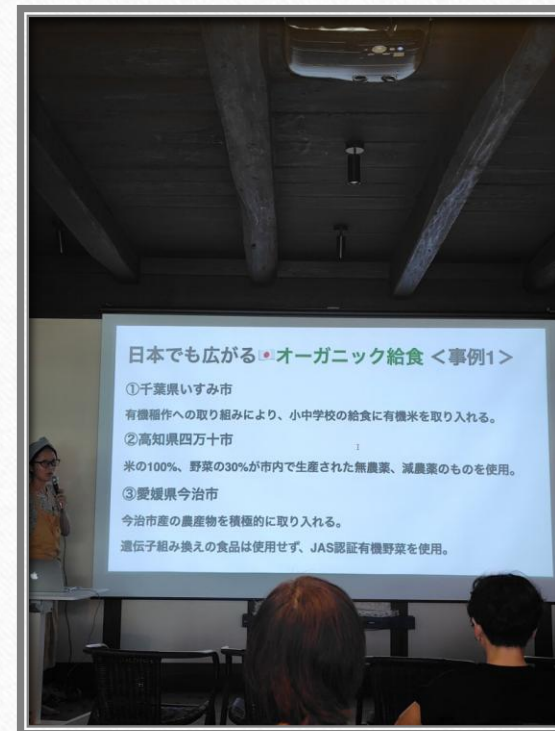
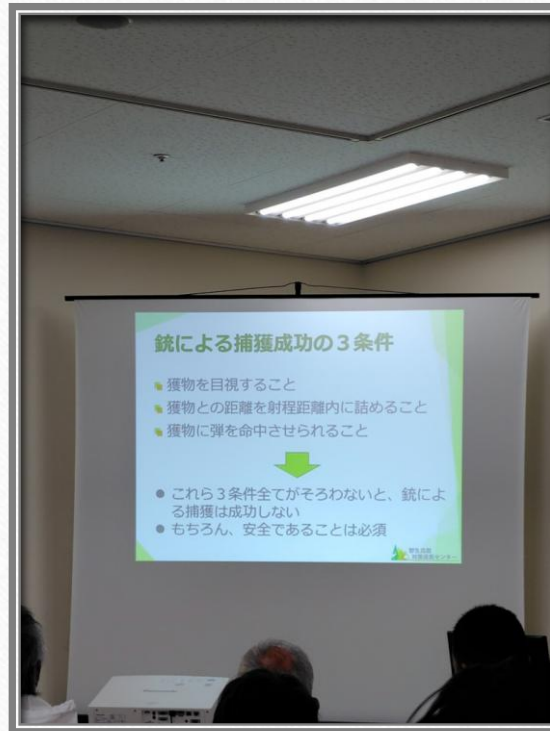
各種講習・研修・セミナーの受講

- ・四国地域おこし協力隊・自治体職員研修
- ・地域おこし協力隊ステップアップ研修
- ・福岡正信自然農園 農業研修
- ・伐木等の業務に係る特別教育講習
- ・有機稲作ポイント研修
- ・狩猟フェスティバル
- ・猟銃射撃教習
- ・未来の給食を考える会

◆本来の農業は有機農業である(有機農業の歴史)

- ・縄文時代
(自然農業・豊かな狩猟採集生活・土地は共有物)
- ・弥生時代 (有機農業の始まり・土地は共有)
→平安時代(土地所有の私的所有)
- ・室町～江戸時代
(有機農業だが、農業の生産性が時代を規定した)
- ・明治～大正～昭和
(農薬と化学肥料による農業近代化・公害と戦争の時代)
- ・昭和(戦後、有機農業の消滅)
→昭和後期(有機農業の復活「有機農業」の誕生)
- ・平成(有機農業の法制化、農業と食生活の変質)
→有機農業再認識
- ・令和(持続可能な社会のための有機農業)
→人類生存のために不可欠な有機農業

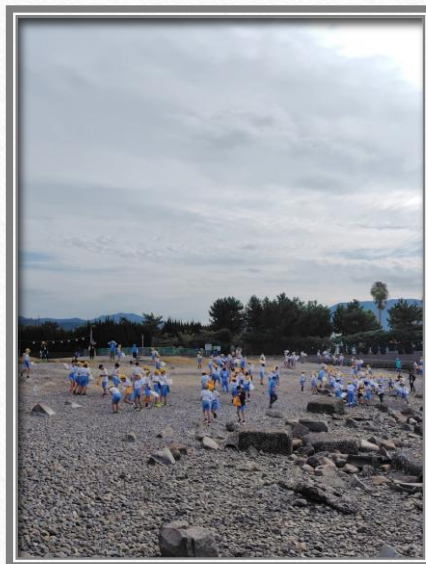




伊予市の海をきれいにし隊 ビーチクリーン活動in双海

毎月、双海町の海岸(下灘青石海岸、灘町海岸、共栄網前の海岸)をローテーションで清掃して、自然環境保護にも取り組んだ。

その活動が、地域の小学校の総合的な学習に取り上げられ、伊予市の小学生にゴミ拾いに参加してもらったり、一緒にゴミの分別作業を行った。



地域の伝統行事・祭事に参加

双海町で毎年10月23日に開催される秋の例大祭に参加し、地域の方々と御神輿を担いで巡行した。

11月22日には三島神社の新嘗祭に出席し、玉串を奉納した。



第2回日本麻文化フォーラム 双海町開催

第2回日本麻文化フォーラムが
伊予市後援のもと、双海町で開催。

県内外問わずたくさんの方々が双海町を訪れ、
自然農や自然食材、麻のことを正しく知る
貴重な機会となった。

AGRI-ART FES 2025
第2回 日本麻文化フォーラム

縄文ライフのすすめ

四国から「未来」のネットワークづくり

移住者や援農支援者を迎え、消えゆく山間地農業を再生する。豊かな自然の中で心身ともに健康的に暮らし、経済優先から精神的な豊かさを重視したライフスタイルへ。麻に象徴される伝統的農作物を基盤とした地域経済づくりと、安心安全で心をも健康にする自然農の実践が求められる今。縄文庄は、人と人、地域と地域をつなぎ、多くの人々が描く理想郷を実現する、四国から始まる国づくりを支援します。

伊予上灘の瀬戸内海を望む

2025.11.16 sun
10:00~16:00

参加料 / ¥2,000
*ワークショップ材料費別添

伊予市・ふたみ潮風ふれあい館
https://www.fureai-iyosasaeru.com

伊予市ふたみ潮風ふれあい公園内

主催：一般社団法人 縄文庄 協力：公益財団法人 緑進協会 伊予市移住者サポートセンター いよりん 琴平・麻心 こころ商店 まつやま瀬戸内農山漁村振興協議会 グリーンコンシューマーおおす 後援：伊予市

https://www.jomonsho.com

AGRI-ART FES 2025

四国から「未来」のネットワークづくりに
ご参加ください

- 10:00 開場 地球マルシェ、しめ縄ワークショップ開催!
- 10:30 オープニング「笑いヨガはじめ」/リーダー 濱本千賀江
- 11:00~12:00 スペシャルトーク

● **スペイン麻栽培者による「ヨーロッパ麻事情」**
ゲストスピーカー：Nico
神奈川県出身。日本人の父とスペイン人の母を持つ。カナダに渡りワイナリーで微生物を利用したオーガニック栽培方を学び、スペインで初となる産業用ヘンプの補助金を得て麻栽培を始め。環境問題の解決を目指すプロジェクトに取り組み、現地メディアに多数出演。

● **13:00~15:10 みんなでトークセッション** ● コーナー司会/田中沙織
● **自然農が地域を創生する!**
オビニオトークゲスト：宮部誠二郎
移住・開拓人口創出の日本一、愛媛県でも採用されているプラットフォームサイト「スマフォ」ディレクター宮部誠二郎氏が講演から参加!

● **セッションメンバー**
・城川縄文庄・若宮自然農「縄文農」のすすめ
・移住者自然農をリードする・まつやま瀬戸内農山漁村振興協議会
・奇跡の大学芋で山間集落に新風! 内子・上田渡・鈴屋
・自然農チャレンジャー 四国中央・みずきファーム

● **15:30 ライフパフォーマンス**
● **ひめみご舞「NEO神楽」**/後藤未芳子

● **16:00 閉会** (18:00~交流会)
出雲まこも・しめ縄づくりワークショップ (10:00~*参加料2,000円)
● 司会進行/中尾千咲 **特別展示「縄文×アート」**アーティスト/川口ハルキ

自然もの・麻好き!大集合 超レアもの人気店出店!
● **これぞ地球マルシェ!「農産品と手工芸品」&自然フード**

シヤンティシヤンティ (麻製衣類)
こころ商店 (麻+天然石アクセサリー)
Tombili (藍染) 宮本社中 (綿着・麻紙)
神織 (まこもしめ縄・アクセサリー)
ヒマラヤンマテリア (ヘンプ雑貨)
自然派 麻屋 (麻製品・小物)
樹珠-Juju (菩提樹アクセサリーなど)
Be Playful (真珠パール・薬草茶等)
こころ (菓子・布もの)
結 髪 ゆら (麻アクセサリー・お香等)

麻心 (麻フード)
発酵一字 (発酵・自然フード)
フォーチュン (自然フード)
ほしのね (自然農食材弁当など)
大学芋・鈴屋 (大学芋)
みずきファーム (自然農産物)
若宮自然農 (縄文汁、麻玄米古代餅等)

● 全体：Mako style (リンパマッサージ他)
● 占い：月の森へようこそ (リリーディング) アルネブ (タロット)

https://www.jomonsho.com



ほたるまつり、上灘・下灘公民館まつりの司会

翠小学校で開催されるほたるまつりと、上灘・下灘各地区で開催される公民館まつりの司会を務めた。



電話応対コンクール 愛媛県大会出場

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会が毎年主催する電話応対コンクールにエントリー。

県内各地区で地区予選大会が開催され、合計140名以上が出場する中、愛媛県大会に出場する24名に選ばれる。



2年目の活動を振り返って

- 実際に一次産業のミッションに取り組み、耕作放棄地を活用できたこと、収穫した農作物をお世話になった方々にお届けできてよかった。それと同時に、もっと多くの方に食べてもらえるように、作付け面積を広げたいと思った。
 - 無農薬、無化学肥料でも農作物を栽培することは可能。
 - 『なぜ』の追求。
- 一次産業を一通り体験できたことで、どの分野に重点的に携わりたいかが見えてきた。
- 行動で示すことが何事においても重要。
- 地域行事に参加することで繋がりが繋がりを生み、双海町以外の方々とも知り合うことが増え、外から双海町を訪れてもらうきっかけを作れた。